

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【公表番号】特表2009-507083(P2009-507083A)

【公表日】平成21年2月19日(2009.2.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-007

【出願番号】特願2008-527439(P2008-527439)

【国際特許分類】

C 0 8 L 1/18 (2006.01)

C 0 8 K 5/10 (2006.01)

C 0 8 K 5/3432 (2006.01)

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

C 0 9 B 67/20 (2006.01)

D 0 6 P 3/52 (2006.01)

D 0 6 P 1/40 (2006.01)

D 0 6 P 5/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 1/18

C 0 8 K 5/10

C 0 8 K 5/3432

C 0 9 D 11/00

C 0 9 B 67/20 F

D 0 6 P 3/52 Z

D 0 6 P 1/40

D 0 6 P 5/00 1 1 1 A

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

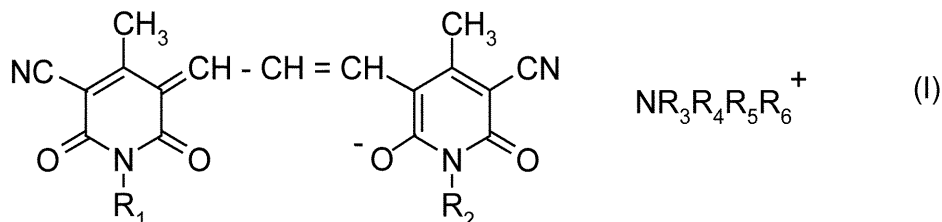
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

( i ) 一般式 ( I ) :

【化 1】



〔式中、

$R_1$  及び  $R_2$  は、互いに独立して、直鎖又は分岐鎖  $C_{2 \sim 6}$  アルキル残基であり；

$R_3$ 、 $R_4$  及び  $R_5$  は、互いに独立して、水素か、非置換であるか又はヒドロキシ - 若しくはアミノ置換されていることができ、場合により酸素原子で中断されていることができる  $C_{2 \sim 14}$  アルキル残基であり、そして

$R_6$  は、非置換であるか又はヒドロキシ - 若しくはアミノ置換されていることができ、場合により酸素原子で中断されていることができる  $C_{2 \sim 14}$  アルキル残基である〕  
で示されるオキシノール染料と、

( i i ) 少なくとも1つの硝酸セルロース結合剤と  
を含む着色剤組成物。

【請求項 2】

$R_1$  及び  $R_2$  が互いに独立して直鎖又は分岐鎖  $C_{4 \sim 5}$  アルキル残基である、請求項 1 記載の着色剤組成物。

【請求項 3】

$R_3$ 、 $R_4$ 、 $R_5$  及び  $R_6$  が互いに独立して直鎖又は分岐鎖  $C_{2 \sim 6}$  アルキル残基である、請求項 1 又は 2 記載の着色剤組成物。

【請求項 4】

半合成又は合成疎水性繊維物質を印刷する方法であって、前記物質に、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項記載の一般式 ( I ) の少なくとも 1 つのオキシノール染料及び / 又は着色剤組成物を適用するか又は混和することを含む方法。

【請求項 5】

半合成又は合成疎水性繊維物質がポリエステル繊維を含む、請求項 4 記載の方法。

【請求項 6】

紙、プラスチックフィルム又は金属箔を着色又は印刷する方法であって、前記物質に、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項記載の一般式 ( I ) の少なくとも 1 つのオキシノール染料及び / 又は着色剤組成物を適用するか又は混和することを含む方法。

【請求項 7】

半合成又は合成疎水性繊維物質、紙、プラスチックフィルム又は金属箔の着色又は印刷における、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項記載の一般式 ( I ) の少なくとも 1 つのオキシノール染料及び / 又は着色剤組成物の使用。

【請求項 8】

請求項 4 ～ 6 のいずれか 1 項記載の方法により得られる着色又は印刷された物質。

【請求項 9】

インクジェット印刷における、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項記載の着色剤組成物の一般式 ( I ) の少なくとも 1 つのオキシノール染料及び / 又は使用。